最先端研究開発支援プログラムの公開活動実施機関（案）

平成22年　月　日
総合科学技術会議

１．　最先端研究開発戦略的強化事業のうち、最先端研究開発支援プログラムの公開活動の実施機関及び実施内容は別紙のとおりとする。

２．　独立行政法人日本学術振興会が、最先端研究開発戦略的強化費補助金から上記公開活動に必要な経費を補助するにあたって定める執行に係るルールは、別添に掲げる本補助金の具体的運用に関する文書に適合するよう策定されなければならない。

最先端研究開発支援プログラムの公開活動の実施機関及び実施内容

別紙

1．国際シンポジウム

実施機関名	シンポジウム名等	対象中心研究者	シンポジウムの概要	補助事業期間	配分額
学校法人慶應義塾	KPRI国際シンポジウム	小池　康博	研究目標である「Face-to-Faceコミュニケーション産業の創出」により、我々の社会が具体的にどのように変わるのかというビジョンの共有を図り、実現へ向けての道筋を国内外に広く発信する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	14,080 千円
株式会社コンベンションリンケージ	第1回分子追跡放射線治療国際会議（First International Conference on Real-time Tumor-tracking Radiation Therapy with 4D Molecular Imaging Technique）	白土　博樹	「革新的治療法の開発によるがん治癒率の向上」に関する講演等を行うとともに、研究情報の発信や知識の交換を図り、結果をプログラムの研究開発に活用する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	27,795 千円
国立大学法人大阪大学	International Symposium “Towards Comprehensive Understanding of Immune Dynamism”	審良　静男	研究成果を広く公開し、研究成果を社会に還元することにより、プログラムの研究開発の重要性に対する理解を促すとともに、我が国における免疫研究の進展を図る。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	9,900 千円
国立大学法人大阪大学	「DNAと関連分子の1分子解析に関する最先端研究開発」をテーマとした国際シンポジウム（International Symposium：Advanced Science and Technology for Single Molecular Analysis of DNA and related molecules）	川合　知二	次々世代ナノバイオデバイス開発のコア技術となる1分子解析技術に関して、世界最先端の研究者が集う国際シンポジウムを実施することにより、プログラムの研究開発を効果的に推進する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	11,870 千円
国立大学法人京都大学iPS細胞研究所	iPS細胞研究に関する情報発信及び研究交流を促進するための国際シンポジウム	山中　伸弥	最新の研究成果を広く発信するとともに、著名な海外の研究者との交流を行うことにより、新たな研究協力体制の構築や多様な情報交換を図り、プログラムの研究の実効性・効率性を向上させる。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	6,993 千円
国立大学法人筑波大学	健康長寿社会を支える最先端人支援技術研究開発プログラムの研究に関する国際拠点形成を視野に入れた情報発信および研究交流を促進するための国際会議	山海　嘉之	プログラムの研究内容を国内外へ発信し、知識の交換を図ることにより、本研究開発が目指す社会像を国民と共有するとともに、解決すべき技術的課題についての認識を他の専門家と共有する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	25,720 千円
国立大学法人東京工業大学	新超電導体および卓越機能物質に関する国際ワークショップ（International Workshop on Novel Superconductors And Super Materials（$NS^2$2011））	細野　秀雄	鉄系をはじめとする超電導体及び関連機能物質について、国内外の優れた研究者による講演及び関連プロジェクトの研究者を中心とした最新の研究成果の報告を行うことにより、プログラムの研究の一層の活性化を図る。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	19,125 千円
国立大学法人東京大学	第二回超小型衛星シンポジウム	中須賀　真一	「超小型衛星」をテーマとする国際学会を実施し、研究成果の報告、研究情報の発信や知識の交換、我が国の研究者に対する国際的な現状の周知、国際的連携体制の構築及び超小型衛星利用者・利用方法の開拓を推進する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	14,450 千円
国立大学法人東北大学	International Symposium on Microsystem Hetero-Integration	江刺　正喜	プログラムの研究内容及び研究成果に関する講演や参加者との意見交換、つくばイノベーションアリーナの関連施設及び関連企業の見学会を実施し、結果を研究開発の方向性に反映させる。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	9,790 千円
国立大学法人東北大学	1st CSIS International Symposium on Spintronics-based VLSIs	大野　英男	プログラムの研究内容及び研究成果を世界に向けて広く発信するとともに、世界の一流研究者との議論及び知識の交換を行い、結果の活用による研究開発の一層の推進を図る。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	3,642 千円

独立行政法人科学技術振興機構	第1回最先端数理モデル国際シンポジウム(The 1st International Symposium on Innovative Mathematical Modelling)	合原　一幸	プログラムの研究内容及び世界的な位置付けを多様な分野の研究者に公開し、研究課題に対する多面的かつ包括的な議論を行うことにより、研究を進める上での有益な示唆を得るとともに、基礎理論の深化や新たな応用展開を図る。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	20,671 千円
独立行政法人科学技術振興機構	医療イノベーションの社会還元を先導する融合研究シンポジウム	岡野　光夫 片岡　一則	関連する2つの研究課題の合同国際シンポジウムを開催し、医薬理工学連携及び産学融合の実践による最先端医療の実現へ向けて、国内外の研究者による多面的な検討を行う。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	14,169 千円
独立行政法人産業技術総合研究所	ナノテクノロジーをテーマとした国際シンポジウム	荒川　泰彦 江刺　正喜 大野　英男 木本　恒暢 横山　直樹	国際ナノテクノロジー総合展・技術会議に併設してナノテクノロジー分野の研究者を対象とした国際的なシンポジウムを行い、研究情報の発信や知識の交換を図るとともに、その結果を研究課題の実施に活用する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	16,175 千円
独立行政法人理化学研究所	「人間の心の進化の遺伝子メカニズム」をテーマとして、人文・社会科学をも含めた様々な分野にわたる研究者を交えた国際シンポジウム	岡野　栄之	「人間の心の進化の遺伝子メカニズム」という先端的研究テーマに係る取り組みを関連学会や研究コミュニティーにアピールすると共に、一般参加者とともに将来の社会応用の可能性や発展性を考える契機とする。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	15,386 千円
独立行政法人理化学研究所	強相関量子科学に関する国際シンポジウムおよびトピカルミーティング(International Symposium and Topical Meeting on "Strongly Correlated Quantum Science)	十倉　好紀	プログラムの研究内容及び研究成果を国内外へ発信するとともに、海外の研究者との共同研究等を実施し、意見や指摘を受けることにより、今後の研究の方向性について指針を得る。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	11,500 千円
独立行政法人理化学研究所	Symposium on “Challenges to New Developments in Electron Microscopy”	外村　彰	研究目標である「世界に類を見ない究極のホログラフィー電子顕微鏡を開発し、世界の学術研究と先端技術を牽引すること」を世界に向けて発信するとともに、国際的連携の推進を図る。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	18,322 千円

2. 一般シンポジウム

実施機関名	シンポジウム名等	対象中心研究者	シンポジウムの概要	補助事業期間	配分額
独立行政法人科学技術振興機構	科学者が、自身の進める最先端科学・技術の可能性とそれらがもたらす明るい未来について、日本の未来を担う若者に語りかけることを基本コンセプトとした一般シンポジウム	30名全員	日本を代表するトップ30名の科学者が直接青少年に語りかけ、青少年からも疑問や質問を投げかけてもらうなど、双方向コミュニケーションを行うことにより、「科学によって明るい日本の未来を切り拓く」気概を持つ若者を育む。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成23年3月31日まで	62,310 千円

別添

最先端研究開発支援プログラムの公開活動における最先端研究開発戦略的強化費補助金の具体的運用に関する文書

○「最先端研究開発支援プログラムの公開活動における最先端研究開発戦略的強化費補助金の運用に係る方針」（平成22年7月14日　総合科学技術会議最先端研究開発戦略的強化事業調整会合）